

日照の検討と日射量の算出（レポートの課題）

1．課題

1) 日本国内の都市の中から自分の好きな都市を1ヶ所、また日本以外の世界中の都市の中から自分の好きな都市を1ヶ所を選び、それぞれの都市における春分の日、夏至の日ならびに冬至の日の太陽高度と太陽方位角を計算して、水平面日影図を描け。

なおレポートには、選んだ都市の緯度と、選んだ理由を明記すること。ただし、レポート提出者の中で、同じ都市を選んだ者がいれば、選んだ者全員の評価は極めて低いものとするので、選択の際には、十分注意すること。

2) 1) で選んだそれぞれの都市における春分の日、夏至の日ならびに冬至の日の太陽高度と太陽方位角を用いて、それぞれの日の水平面全天日射量、南面、東面ならびに西面の壁がそれぞれ受ける日射量の一日の変化をグラフに描け。ただし、大気透過率は、夏至では0.6、春分の日では0.65、冬至では0.75、とする。

3) 例題で扱った熊本、自分の選んだ2ヶ所の都市の

・水平面日影図

・水平面全天日射量、南面、東面ならびに西面の壁がそれぞれ受ける日射量の一日の変化の図をそれぞれ比較して考察し、考えられることを述べよ。

4) 講義・演習を受けての感想、意見、批評などを書いてください。

注) レポート中のグラフや図は、見やすいように各自で工夫すること。レポートの体裁は、A4判であれば、枚数には特に制限を設けないが、他人が見ても（読んでも）わかりやすいレポートを作成するよう心がけること。

2．締切

6月7日（金）

3．提出先

下記の担当者の所まで。必ず、手渡すこと。手渡さないで扉にはるなどした場合は、紛失しても責任はもてない。なお、質問なども下記の担当者まで。

講師・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階西南角

電話：096-383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

助手・香川 治美

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階南側中央付近

電話：096-383-2929（内線482）

e-mail：haru206@pu-kumamoto.ac.jp